

愛犬とお出かけノート



わん旅ぐんま

GUNMA: Your Dog-Friendly Escape

マナー&メモリーブック



群馬県

「愛犬とお出かけノート」は、群馬県が制作しました。
愛犬との日々の記録を書きながら、次のお出かけの予定を立てたり、
お出かけ前にマナー・しつけを振り返ってみたり…。

旅のきろくページでは、世界にひとつだけの、旅のアルバムを
作ることができます。かけがえのない愛犬との素敵なお出かけを、
このノートと一緒に、ぜひ群馬県で楽しんでくださいね。



写真スペース1

年 月撮影



写真スペース2

年 月撮影

愛犬のプロフィール

名前

.....

生年月日 西暦 年 月 日

.....

犬種

.....

性別

.....

毛色

.....

体重

kg

マイクロチップ (有・無) 番号:

.....

鑑札番号

.....

不妊去勢 済・未

.....

既往症 (持病、飲んでいる薬、アレルギーなど)

.....

特徴

.....



予防接種の記録

大切な愛犬を感染症から守るための記録です。
旅に出る前には、必要な予防接種が済んでいるか、必ず確認しましょう。

狂犬病ワクチン

注射年月日	年	月	日	注射済票 No.
注射年月日	年	月	日	注射済票 No.
注射年月日	年	月	日	注射済票 No.
注射年月日	年	月	日	注射済票 No.
注射年月日	年	月	日	注射済票 No.

ワクチン

種混合ワクチン	注射年月日	年	月	日	年	月	日
種混合ワクチン	注射年月日	年	月	日	年	月	日
ワクチン	注射年月日	年	月	日	年	月	日

最低限5種混合ワクチンを、より広範囲の感染症から愛犬を守りたい場合には7種以上の混合ワクチンが推奨されます。まずは、かかりつけの動物病院へご相談を。

健康の記録(通院・症状など)

年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日

かかりつけの動物病院

病院名	
電話番号	()



愛犬のための基本ケア

基本知識

愛犬が毎日を健康で快適に過ごすために、
知っておきたい基本の知識をまとめました。



食べてよいもの・悪いもの



- ・さつまいも(加熱)
- ・キャベツ、白菜
- ・りんご(芯と種はNG)
- ・鶏ささみ(加熱)
- ・ヨーグルト(無糖)



- ・チョコレート、ココア
- ・玉ねぎ、ネギ類
- ・ぶどう、レーズン
- ・キシリトール
- ・アルコール類

食べてしまったときは・・・

食べ物であっても異物であっても、誤って飲み込んでしまった場合は、一刻も早く動物病院へ連絡し、指示を仰いだうえで速やかに受診することが何よりも大切です。ご自身の判断で様子を見ることは避け、必ず専門家の指示を仰いでください。



わんちゃんの快適な温度



室温 25℃前後、湿度 50%前後が目安。クールマットや凍らせたペットボトルを活用し、熱中症に注意しましょう。



寒さに弱い犬種は、服やヒーターで暖かく。乾燥にも注意し、加湿器などで湿度を保ちましょう。



もしもの時の対処法

誤飲してしまったら？

- ・まずは落ち着いて、何をどれくらい食べたか確認。
- ・無理に吐かせようとせず、すぐに動物病院に連絡し、指示を仰ぎましょう。

嘔吐・下痢をしたら？

- ・元気や食欲があるか、他に症状はないか観察します。
- ・症状が続く場合や、ぐったりしている場合は、すぐに動物病院へ。



日常のケア

爪切り・お風呂・歯磨き・トリミングは、わんちゃんの健康と清潔を保つためにとても大切です。定期的なケアを習慣にしましょう。



「マナー BOOK」では、お出かけに特化したマナーや準備などを紹介します。

愛犬の安全を守るだけでなく、周りの人々や他のわんちゃんへの配慮にも繋がります。みんなが気持ちよく過ごせる旅にするために、出発前に必ずチェックしましょう。すでにご存じの方も、改めて振り返ってみてくださいね。



出発前の準備・旅のマナー

旅の前の健康チェック

1週間くらい前から、愛犬の様子をいつもより注意深く観察しましょう。少しでも不安なことがあれば、かかりつけの動物病院に相談を。



これって法律で決まってるの？

Q. 首輪につけるキラキラした札は何？



A. それは「鑑札」と「注射済票」です。狂犬病予防法により、これらの装着と、年1回の狂犬病の予防注射が義務付けられています。万が一迷子になったとき、大切な目印にもなります。

旅先で気をつけたい感染症

マダニなどが媒介する感染症（重症熱性血小板減少症候群（通称 SFTS）やレプトスピラ症など）は、犬や猫だけでなく人も感染する可能性があります。予防薬の投与など、かかりつけの動物病院と相談してしっかり対策しておきましょう。

忘れずに持っていききたい書類

宿泊施設などで提示を求められることがあるので、「ワクチン接種証明書」のコピーは必ず携帯しましょう。



ごはんやお薬は「少し多め」が安心の秘訣

旅先での環境の変化で食欲が落ちる子も。いつものごはんに加えて、特別なトッピングを用意してあげると良いかもしれません。また、予期せぬトラブルで帰宅が遅れる可能性も考え、ごはんもお薬も2~3日分多めに持っていくと安心です。



一緒に暮らすための社会化としつけ

「社会化」とは、簡単にいうとたくさんの経験を通して様々な刺激に慣れて、学んでいく過程のことをいいます。

人の社会で暮らすわんちゃんたちには、人とともに過ごす上で必要なマナーやルールを飼い主自身がしっかりと教えていく必要があります。



4つの愛犬を守るコマンド（合図）

🐾おすわり

おやつを犬の鼻先から頭上にゆくり動かし、「おすわり」と声をかけて座ったら褒め言葉を与えて練習します。

🐾犬を落ち着かせたり、食事や散歩の前に制御したりするために不可欠です。



🐾ふせ

リラックスして伏せている時に「ふせ」と声をかけ、褒めることで練習します。

🐾カフェやレストランで犬が足元で静かに待つ時などにとっても役立ちます。



🐾おいで

おうちや日々のお散歩で「おいで」と呼び、戻ってきたら褒めて練習します。

🐾ドッグランで遊び終わった時やリードが外れてしまった時など、あなたの声で犬が戻ってこられるようにするために大切です。



🐾まて

「まて」と声をかけ、その場で待たせます。最初は1秒からはじめ、少しずつ待てる時間をのばし、できたらしっかり褒めます。

🐾「動いてもいいよ」の合図があるまで待つ練習で、カフェや人とのすれ違い時など様々な場面で役立ちます。



🐾Point | どの練習でも、できたらすぐにおやつをあげて、「いい子だね!」とたくさん褒めてあげることが成功への近道です!

どうしても吠えてしまう時

吠えるのは、わんちゃんにとって大切なコミュニケーションの一つ。「怖い」「警戒している」「嬉しい」など、理由があります。まずは何に対して吠えているのかを理解しようとするのが第一歩。おやつで気を引いたり、その場から一旦離れたりするのも有効な方法です。焦らず、愛犬の気持ちに寄り添ってあげましょう。





公共の場での ハッピーマナー

最近では、愛犬と一緒に入れる素敵な場所がどんどん増えています。だからこそ、私たち飼い主一人ひとりのマナーがとても大切です。



シーン別！ 気を付けたいこと



レストラン・カフェで

🐾食器は分けよう

提供される人用の食器をわんちゃんに使わせるのはマナーに反します。わんちゃん用のお皿などを持参しましょう。



🐾椅子やテーブルの上はNG

基本的にわんちゃんは足元かキャリーバッグの中で過ごします。(お店の許可がある場合は別)



一緒に食事正しいマナーで

🐾マナーウェアの着用

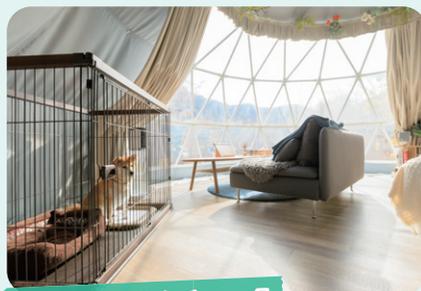
万が一の粗相に備え、マナーウェアを着用するとお店も自分も安心です。



宿泊施設で

🐾施設の許可がない限り、ベッドや布団の上はNG

わんちゃんを人用の寝具に上げる前に施設のルールを確認。いつも使っているベッドやマットを持参すると、わんちゃんも安心して眠れます。



施設のルールをチェック

🐾お部屋に残しての外出

短時間であっても、わんちゃんだけをお部屋に残すのは施設のルールを確認してからにしましょう。

🐾抜け毛のケア

施設内ではウェア（服）を着せたり、チェックアウト前にはお部屋の抜け毛を簡単に掃除するなど、ちょっとした心遣いを。

お散歩とトイレの基本マナー

🐾リードは命綱

短いリードで、常にコントロールできる長さを保ちましょう。伸縮リードはロック破損の可能性も。公共の場所では伸縮性のないリードの使用がおすすめです。



リードは命綱



🐾排泄物の処理は飼い主の責任です

うちは必ず持ち帰りましょう。おしっこは、ペットシートで尿を吸い取ってから水をかけるのがエチケット。特に建物や個人の所有物には、おしっこをさせないように注意しましょう。

🐾排泄物の廃棄について

旅先で出た排泄物は、宿泊施設やドッグランの専用ゴミ箱に捨てられるか確認を。わからない場合は、責任を持って自宅まで持ち帰りましょう。臭いが漏れにくい袋などを活用するのがおすすめです。



🐾もしも咬んでしまったら

万が一、人や他の犬を咬んでしまった場合は、まず、被害者のケガの手当や病院への搬送に誠実に対応してください。治療費は原則全額負担となるため、被害者の保険証を使う場合は健康保険組合に確認を。その後は速やかに、事故発生場所を管轄する動物愛護センター等へ連絡してください。



わんちゃんが苦手な人も…。忘れたくないマナー

世の中には、様々な理由でわんちゃんが苦手な人もいます。過去の怖い経験や、アレルギー、あるいは単純にどう接していいかわからない、という人も。私たちが「うちの子は大丈夫」と思っている、相手にとってはそうではないかもしれません。「吠えるのをそのままにしない」「急に飛びつかせない」「リードを長くしすぎない」といった基本的な配慮が、お互いが気持ちよく過ごすための第一歩になります。





ドッグランを100%楽しむために

ドッグランは、愛犬が思いっきり走り回れる最高の遊び場。

でも、そこはたくさんのわんちゃんと飼い主さんが集まる「小さな社会」でもあります。みんなが安全に楽しむために、ルールを守って利用しましょう。



ドッグラン利用のチェックリスト

まずは施設のルールを確認

場所によってルールは様々。「あそこはOK だったから」という思い込みは禁物。利用前に必ず現地のルールを確認。

愛犬から絶対に目を離さない

他のわんちゃんとの相性を見ながら、トラブルが起きる前に介入できるように、常に愛犬の様子を見守る。

飲食・おもちゃの使用は慎重に

おやつやおもちゃが原因で、わんちゃん同士のケンカに発展することもある。与える際は、周りの状況をよく見て、他のわんちゃんがいな場所。

排泄物の処理はスピーディーに

おしっこやうんちをしたら、すぐに片付ける。他のわんちゃんが踏んでしまうことや、食糞を防ぐ。

他のわんちゃんに触る前には許可を

急に触られるのが苦手な子もいるため注意。必ず飼い主さんに「触ってもいいですか?」と一声を。

出入りは必ずリードをつけて

ドッグランへの出入りは、他のわんちゃんを興奮させやすい。必ずリードをつけ、扉が完全に閉まったことを確認してからリードを外すこと。

もしもトラブルが起きたら

まずは当事者同士で冷静に話し合いを。興奮している場合は、一度わんちゃんをドッグランの外に出して落ち着かせることも大切。



もしも...に備える旅の安全対策



楽しい旅を心から満喫するためには、「もしも」の事態に備えておくことが大切です。事前の準備と正しい知識が、いざという時の不安を減らし、あなたと愛犬を守るお守りになります。



旅の「もしも」Q&A

Q. 暑い時期の注意は?

A. 熱中症に最大限の注意を! 日中のアスファルトは高温になり、肉球をやけどすることもあります。お散歩は涼しい朝晩に。車内での留守番は、たとえ短時間でも絶対にやめましょう。保冷剤や凍らせたペットボトルなども活用してください。

Q. 逃げてしまったら?

A. まずは落ち着いて、すぐに警察や近くの動物愛護センターに連絡しましょう。万が一に備えて、首輪やハーネスに鑑札・注射済票・迷子札を必ずつけておくことが重要です。車のドアを開ける瞬間の飛び出しにも注意してください。

Q. 車の移動で気を付けることは?

A. わんちゃんを運転手の膝の上に乗せるなどの行為は大変危険な上、道路交通法違反となります。安全のため、クレートやキャリーバッグに入れ後部座席でシートベルトにて固定するか、**わんちゃん用のシートベルトを必ず使用**しましょう。

Q. おうちに帰ったら?

A. 楽しかった旅の後は、人もわんちゃんも疲れています。2~3日はゆっくり休ませてあげて、食欲や排泄の状態などをよく観察しましょう。もし変わった様子があれば、すぐにかかりつけの動物病院に相談してください。

「もしも」への備えは、旅を楽しむための大切なステップ。
準備が整ったら、さあ、群馬の魅力的なスポットへ
出かけましょう!



📷旅の思い出きろく

このページは、決まったルールのない、あなただけの特別な記録スペース。
 写真やチケットを貼ったり、楽しかった出来事を絵や言葉で綴ったり。
 自由に作成する世界にひとつだけの、旅のアルバムです。

🐾思い出

年
月 日
行き先



🐾思い出

年
月 日
行き先

持ち物チェックリスト

お出かけのシーンに合わせて、必要なものをチェック！
忘れ物がないか、最後に確認しましょう。



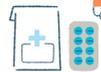
Step1 いつものお散歩・近所へのお出かけ

- 🐾 リード、首輪（またはハーネス） 
- 🐾 うんち袋、ティッシュ 
- 🐾 鑑札、注射済票
- 🐾 おしっこを流すためのお水、吸い取るためのペットシート

Step2 日帰りのお出かけ (Step 1 に加えて…)

- 🐾 1回分のごはん、おやつ 
- 🐾 タオル 
- 🐾 飲み水と食器 
- 🐾 (必要であれば) キャリーバッグやクレート 
- 🐾 マナーウェア (マナーベルト、おむつ)

Step3 お泊り旅行 (Step 2 に加えて…)

- 🐾 旅行日数分+予備のごはん、おやつ
- 🐾 予備のリード、首輪 
- 🐾 常備薬 (日数分+予備) 
- 🐾 わんちゃん用の服
- 🐾 ワクチン接種証明書などのコピー
- 🐾 ブラシ、ハミガキなどのケア用品 
- 🐾 いつも使っているベッドやおもちゃ 
- 🐾 宿泊先の連絡先、近隣の動物病院のメモ

豆知識

忘れずに持っていきたいもの

いつも使っているベッドやおもちゃを持っていくと、慣れない場所でも自分のにおいがして、わんちゃんがリラックスしやすくなりますよ。



ぐんまのおでかけスポット

群馬県は、「温泉」「自然」「食」などの魅力が勢ぞろい！

愛犬と一緒に楽しめるスポットをご紹介します。さあ、次はどこへ行く？



ロックハート城

利根沼田
エリア



雪探検



洞元湖（カヌー）



草津湯もみショー

吾妻
エリア



東部
エリア



草津温泉スキー場



サウナの森
水沼ヴィレッジ



富岡製糸場

西部
エリア



県央
エリア



名犬牧場



Gunma Flower Park+

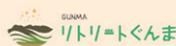
県内の動物病院の情報はこちら

※公益社団法人群馬県獣医師会の会員の情報に限ります



お問い合わせ先

群馬県観光リトリート推進課
TEL 027-226-3381



群馬県観光公式サイト「リトリートぐんま」
<https://retreat.gunma-kanko.jp/>



群馬県観光公式サイト「観光ぐんま」
<https://gunma-kanko.jp/>



愛犬と楽しめる群馬の魅力的なスポットや
最新情報は公式サイトでチェック！



わん旅ぐんま

GUNMA: Your Dog-Friendly Escape

<https://gunma-kanko.jp/with-pet>



本冊子に掲載のデータは令和8年1月現在のものです
発行/群馬県 2026.1